

## <巡察艦>ゴースロス搭載連絡艇

### 作画用 立体設定図

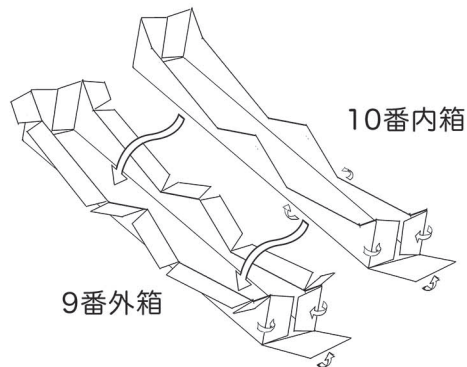
<巡察艦>ゴースロス搭載連絡艇のペーパークラフトです。  
実際の作画参考モデルはもう少し簡略化したものですが、  
見栄えを良くするためいくつかパーツを追加しました。  
厚手の漫画家用原稿用紙かケント紙にコピーして作成してください。  
サイズはA-4 大き目の雑誌くらいです。  
それより小さくなると細かくて作りづらく、  
大きくするといくらかの補強を入れねいとなりません。  
現物合わせで適当に作ったものをもとにしているため  
部品同士の組み合わせがうまくいかない部分が多々あります。  
適当に切った貼った曲げたで製作してください。  
いい加減で申し訳ありません。

©米村孝一郎/COMICメテオ  
このモデルの著作権は ©森岡浩之・早川書房 にあります。  
©サンライズ  
個人で楽しむために複製、制作する事は自由ですが、  
この画像を転載したり、画像、完成品を販売等する事は禁止します。

1

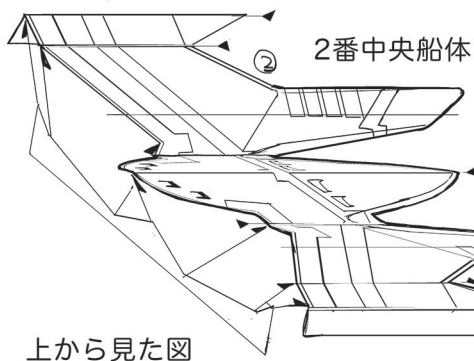
中央船体、時空泡発生装置の作成

補強桁の作成 10番の内箱と9番の外箱を作る  
9番の外箱ののりしろは外側に折っておく  
9番の外箱に10番の内箱を入れて接着



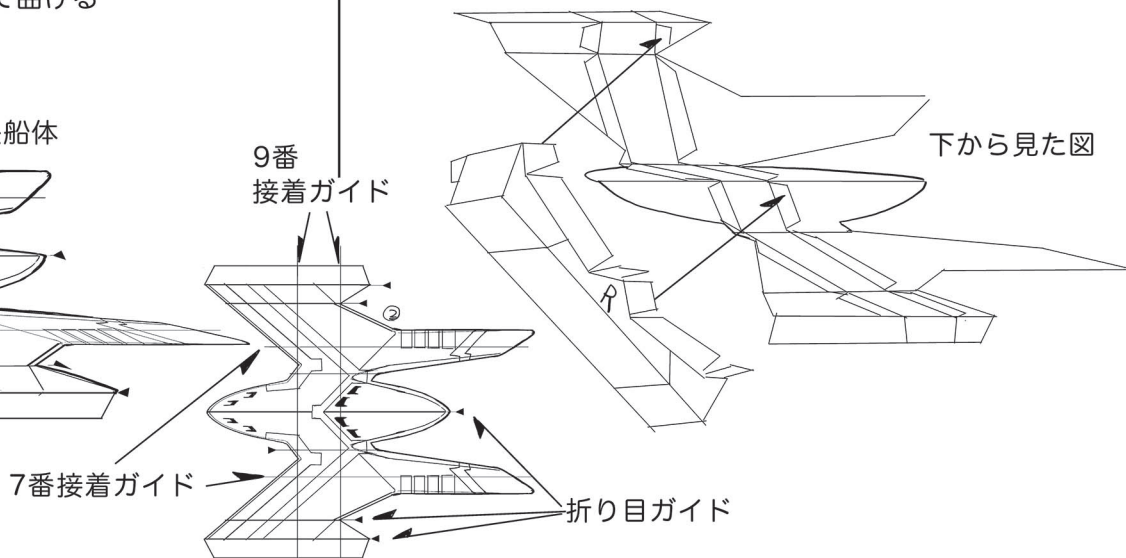
2

2番中央船体を折り目に沿って折る  
補強桁の凹凸に合わせて曲げる



3

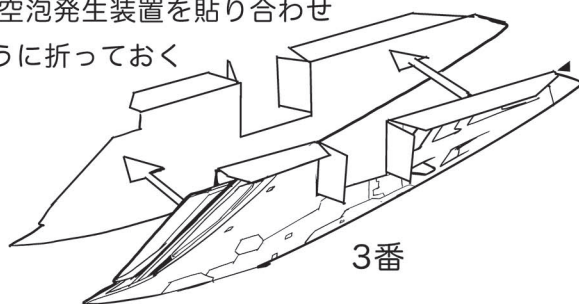
補強桁の前 (F) と (R) を間違えないように  
接着ガイドを参考に位置を確認して接着



4

中央船体、時空泡発生装置の作成

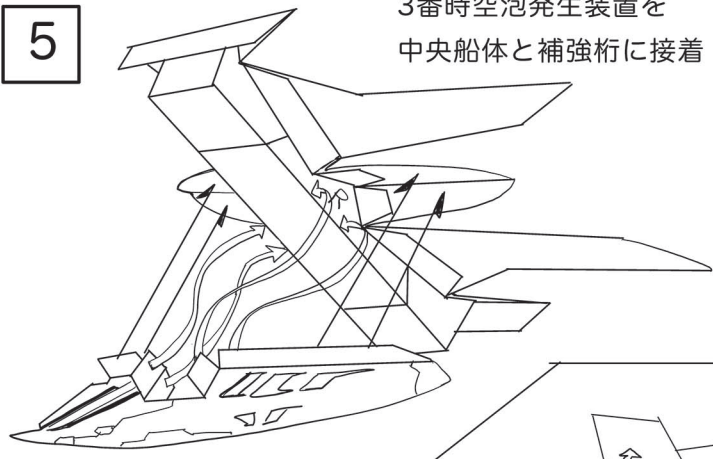
3番左右の2枚の時空泡発生装置を貼り合わせ  
のりしろを図のように折っておく



3番

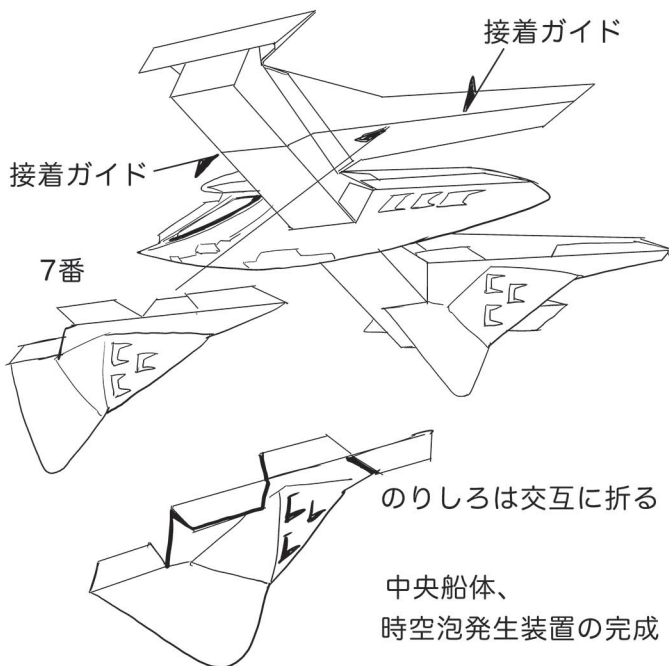
5

3番時空泡発生装置を  
中央船体と補強桁に接着



6

7番左右のフィンを接着ガイドを  
参考に位置を確認して接着



接着ガイド

7番

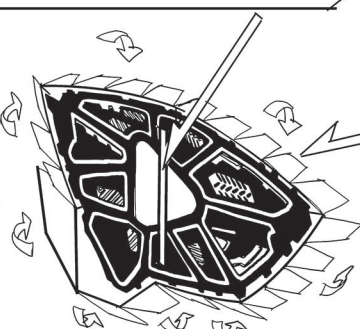
のりしろは交互に折る

中央船体、  
時空泡発生装置の完成

7

6番

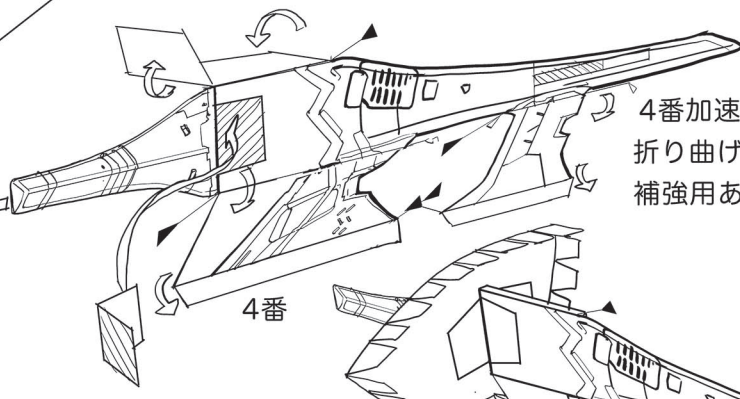
6番磁場インテークの中央に  
ガイドを目安に切れ込みを作る  
のりしろを後ろに折り曲げる



あて紙M

4番

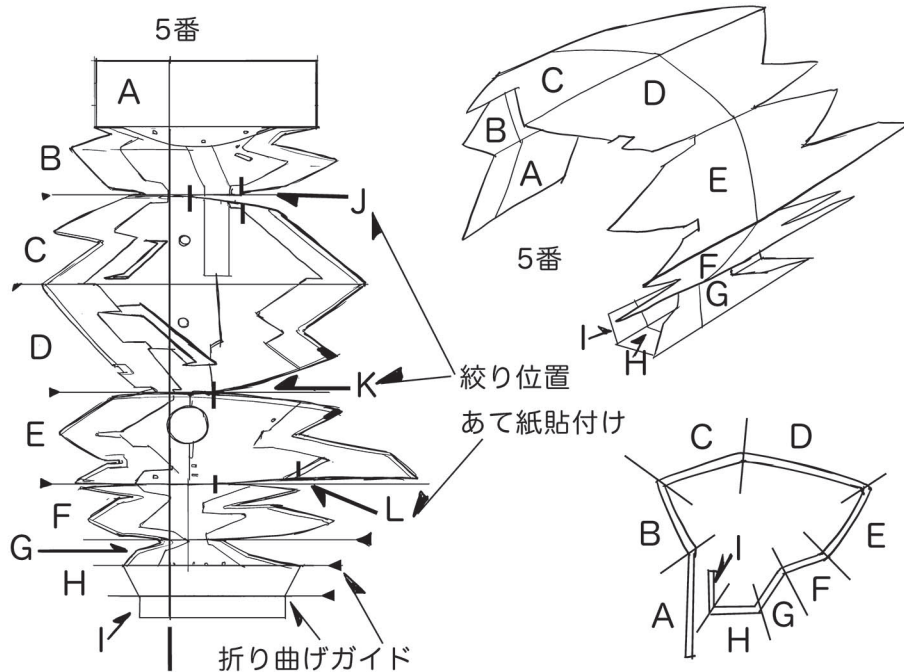
4番加速レーンを図のように  
折り曲げ接着し  
補強用あて紙Mも接着する



6番磁場インテークに  
4番加速レーンを差し込み接着

8

5番通常空間用エンジンを折り曲げる  
折り曲げガイドと絞りガイドに注意



5番

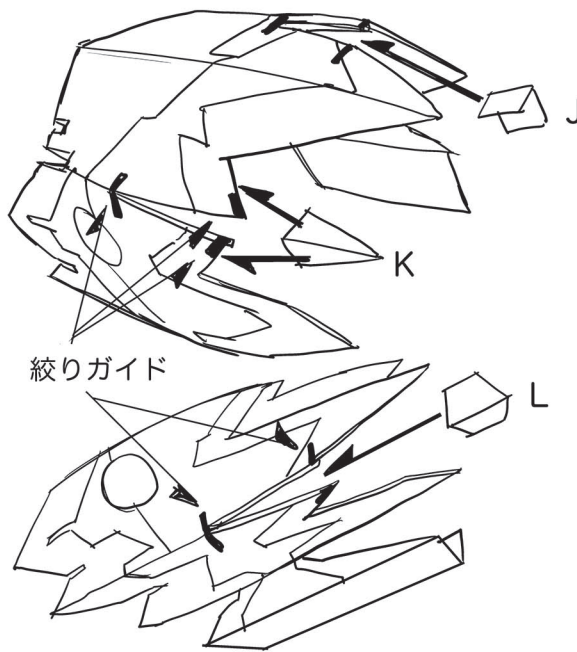
5番

絞り位置  
あて紙貼付け

折り曲げガイド

9

5番通常空間用エンジンの後部に  
補強用あて紙 J K Lを接着  
少し絞られ卵形に近くなる。

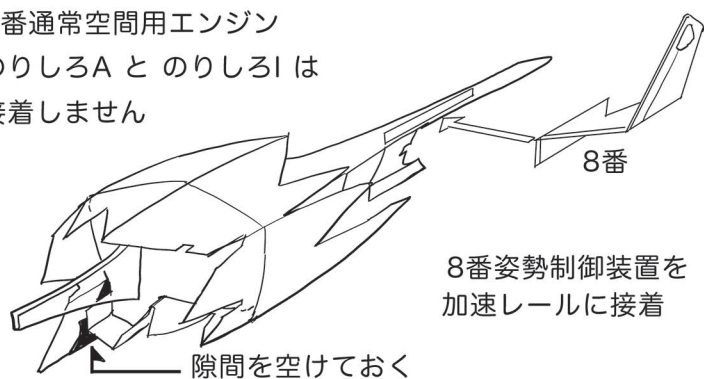


絞りガイド

10

接着ガイドを参考に位置を確認して、  
通常空間用エンジンを加速レールに接着

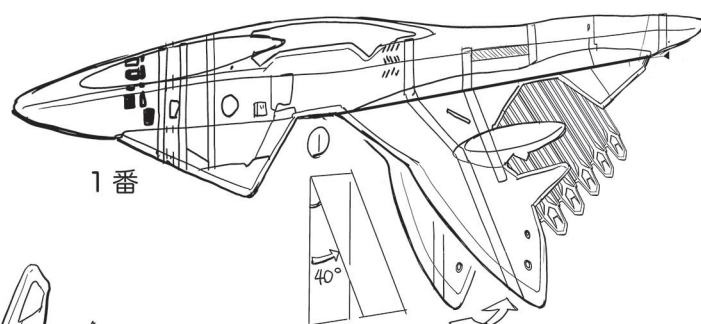
5番通常空間用エンジン  
のりしろA と のりしろI は  
接着しません



11

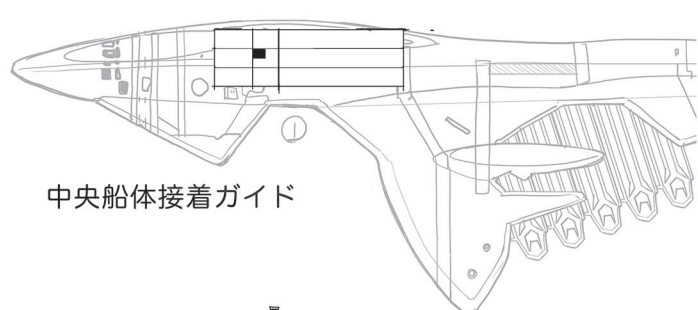
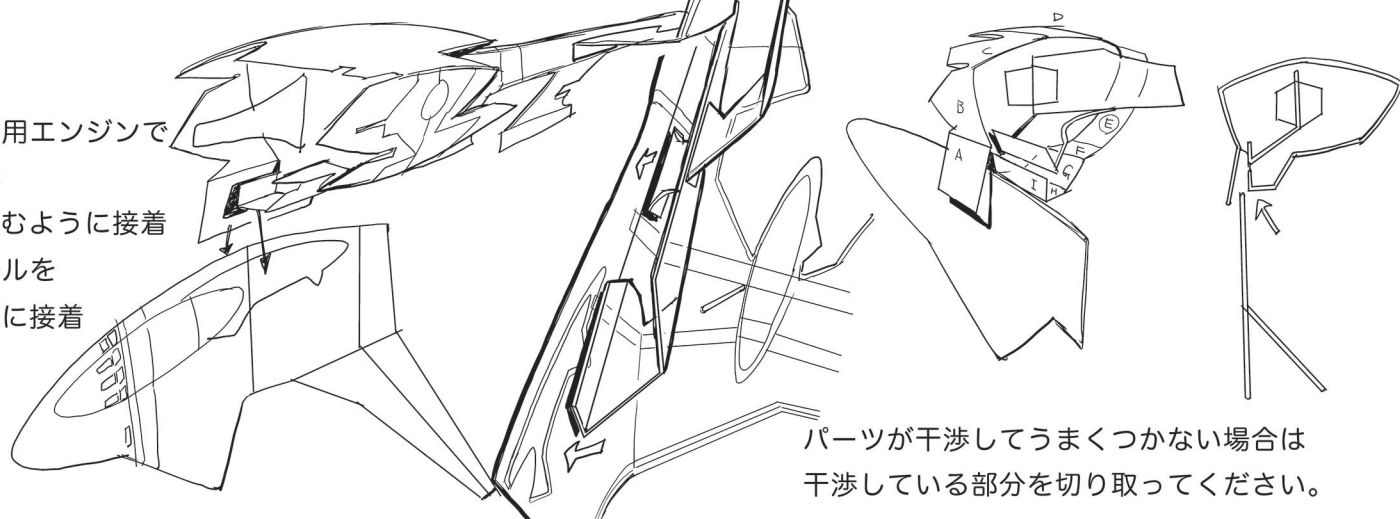
側方船体の作成。左右2組

1 番船体を図のように折り曲げる  
おおよそ40度の角度



12

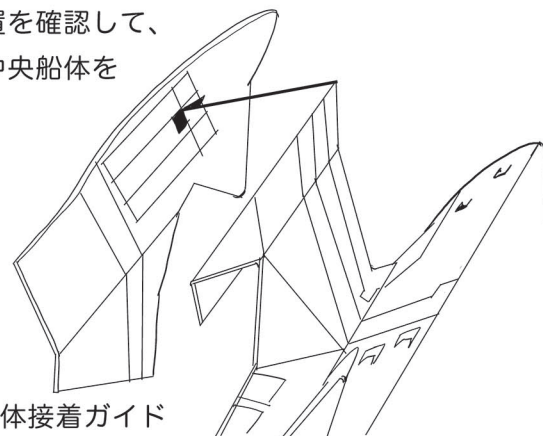
通常空間用エンジンで  
側方船体  
を挟み込むように接着  
加速レールを  
側方船体に接着



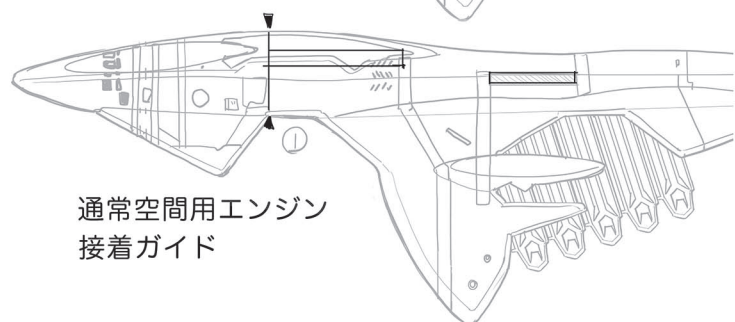
接着ガイドを参考に位置を確認して、  
通常空間用エンジン、中央船体を  
側方船体に接着

13

中央船体接着ガイド

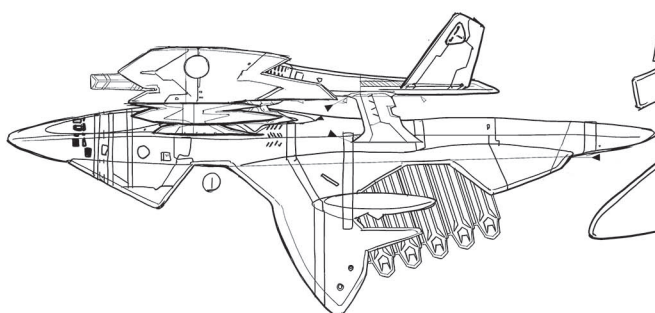


通常空間用エンジン  
接着ガイド

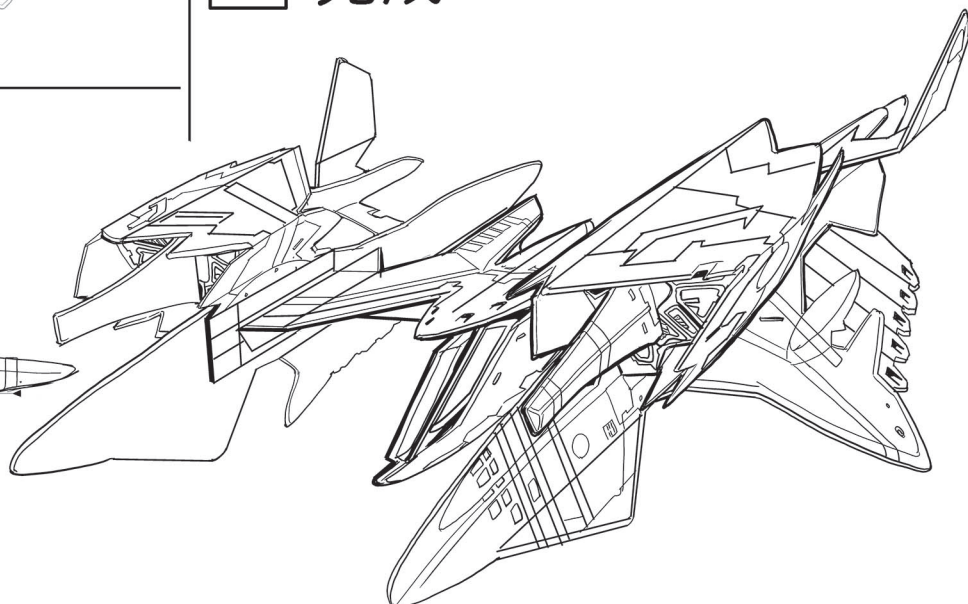


14

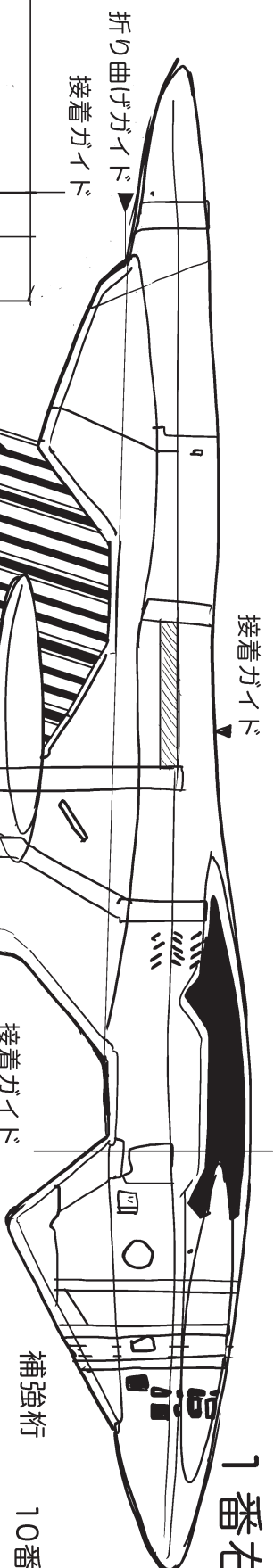
大まかに各パーツが  
平行になるように接着してください。



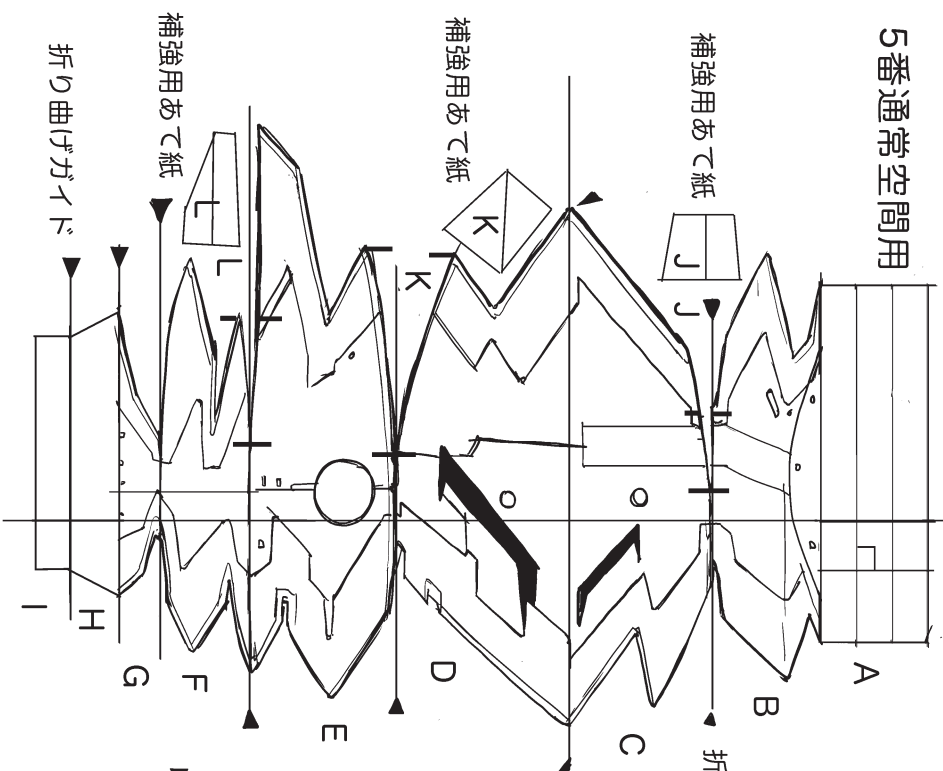
15 完成



1 番右船体



5 番通常空間用



補強用あて紙

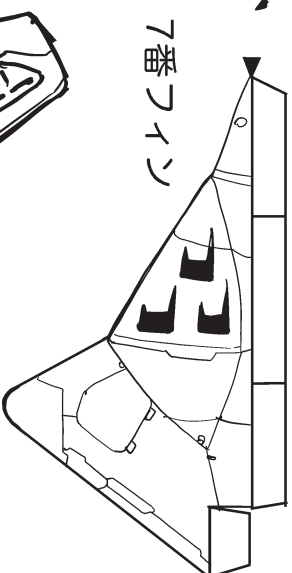
補強用あて紙

補強用あて紙

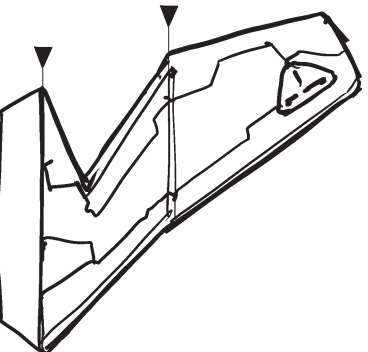
折り曲げガイド

折り曲げガイド

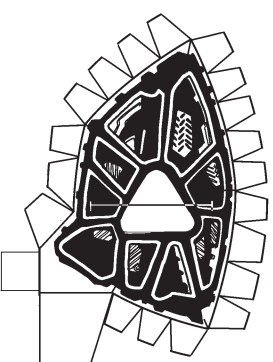
7 番フィン



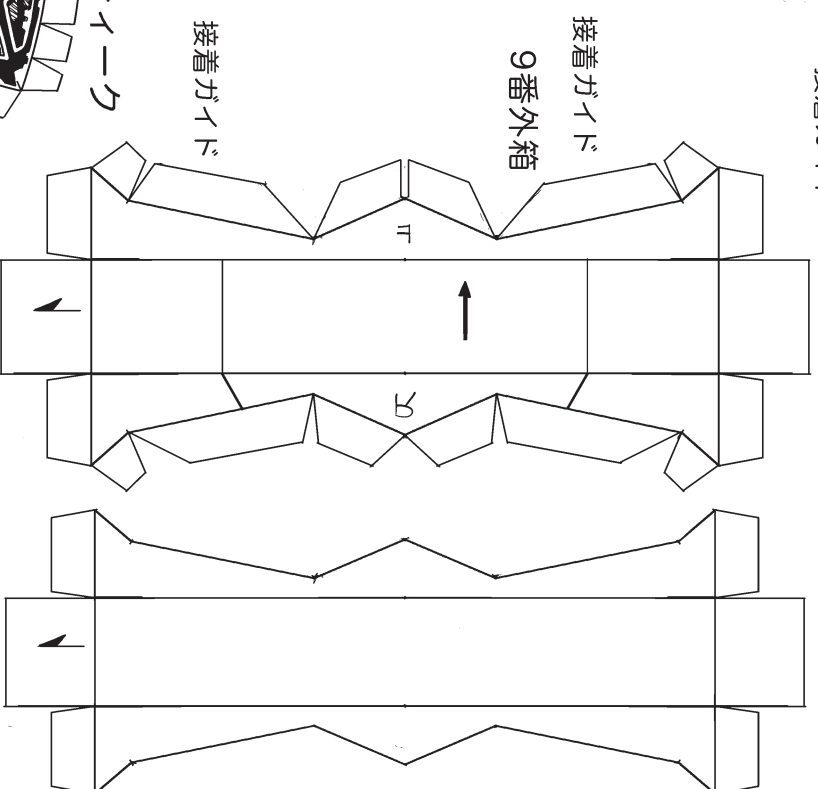
8 番姿勢制御装置



6 番磁場インテーク



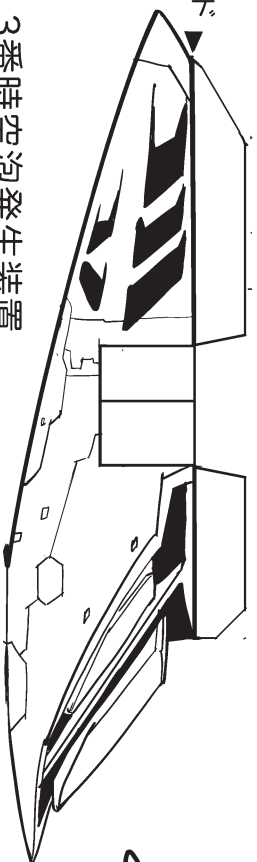
9 番外箱



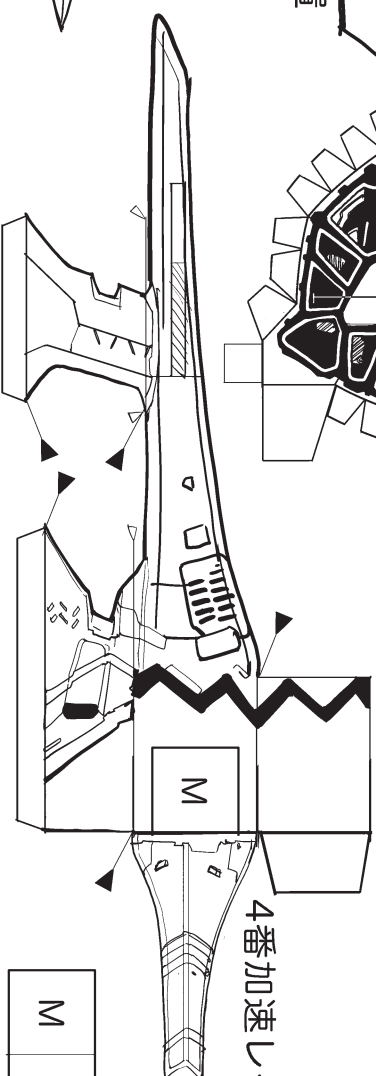
補強桁

10 番内箱

3 番時空泡発生装置



4 番加速シール



M

補強用あて紙

# 1 番左船体

